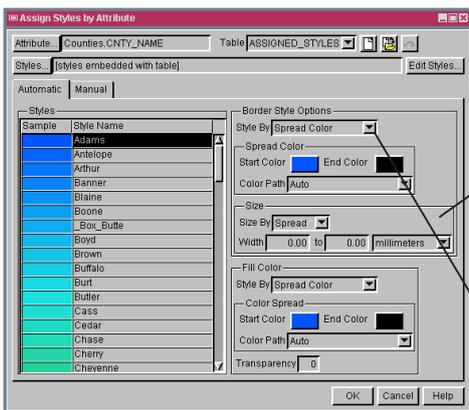


# 自動スタイル割り当てオプション

TNT 製品の自動スタイル割り当て処理には、ポイントのシンボルや、ラインの実線の色、ポリゴンの塗り潰しや境界線のスタイルなどを自動的に割り当てるための様々なオプションがあります。これらのオプションを使って要素のスタイルの色や幅の自動割り当てをコントロールすることができます。[自動] タブパネルのデフォルト設定をそのまま使用すると、選択している要素は少しずつ変化するデフォルトの色で表示されます。ラインやポリゴン境界の幅は全て同じであり、ポイントのシンボルの大きさも同じままです。カラープレッドの始めと終わりの色は、標準のカラーエディターを使って簡単に変更することができます。自動スタイル割り当て処理のデフォルト設定は、「スタイル (Style By)」や「サイズ (Size By)」メニューを使って変更することができます。これらの2つのメニューは同じ内容であり、全ての要素タイプのスタイルに適用されます。「スタイル」メニューからオプションを選択して、①標準のカラーエディターを使って全てのスタイルに同じ色を割り当てたり、②カラーパレットを指定してそこから自動的に色を選択したり、③

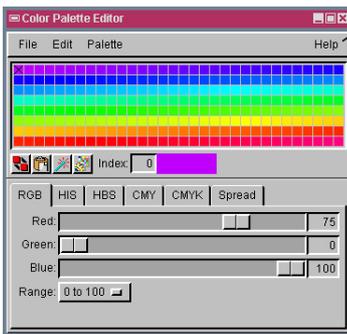
異なるカラーパスを使ってカラープレッド用の始めと終わりの色を定義することができます。このメニューでは色の割り当て方を5つのオプションの中から選択することができます: All Same (全て同じ色)、Random Color (ランダムに色を割り当てる)、Random in Palette (カラーパレットの中からランダムに色を割り当てる)、Palette Progression (カラーパレットの順番に割り当てる)、Spread Color (カラープレッド)。

選択したオプション毎にそれぞれ別のパネルが表示されます。「サイズ」メニューではサイズブレッド用の幅を指定することができます。また、希望するの幅の範囲内でランダムにサイズを割り当てることも可能です。



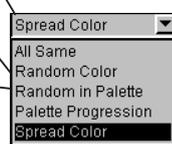
ラインのスタイルやポリゴンの境界線、ポイントシンボルに対して指定する幅の範囲内でランダムか、サイズブレッドのどちらかを選択します。

Random Color オプションを選択すると、自動スタイル割り当て処理において色はランダムに選択されます。[Repick Colors (色の選択)] ボタンをクリックすると、ランダムな色の設定を新たに選ぶことができます。

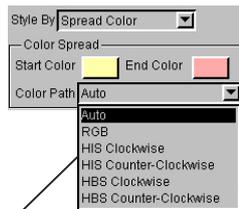


このボタンをクリックして、選択したカラーパレットから色の新しい設定を割り当てます。

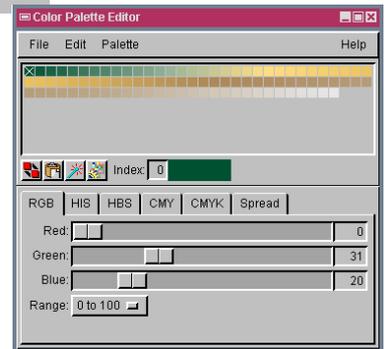
このボタンをクリックして、選択したカラーパレットから色の新しい設定を割り当てます。



このボタンをクリックしてカラーエディターを開き、カラープレッドの範囲を指定します。



「Color Path」メニューから RGB や HIS カラーモデルやスプレッドのための色の割り当て方法を選択することができます。



カラーパレットエディターの中で選択したカラーパレットから色がランダムに選択されます。カラーパレットエディターは標準のカラーパレットを直接使ったり、カスタマイズして使うことができます。下図は標準のカラーパレットである Rainbow1 (上図) を使ってランダムに選択した色です。

カラーパレットエディターで指定したカラーパレットから属性の数だけ色が順番に選択されます。下図はネブラスカ州の92個の郡を標準のカラーパレットのアーストーン (上図) の92番目までの色を使って色分けした図です。

